

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 小川通周辺地区	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 小川通の無電柱化及び道路修景整備。【頁7-9】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

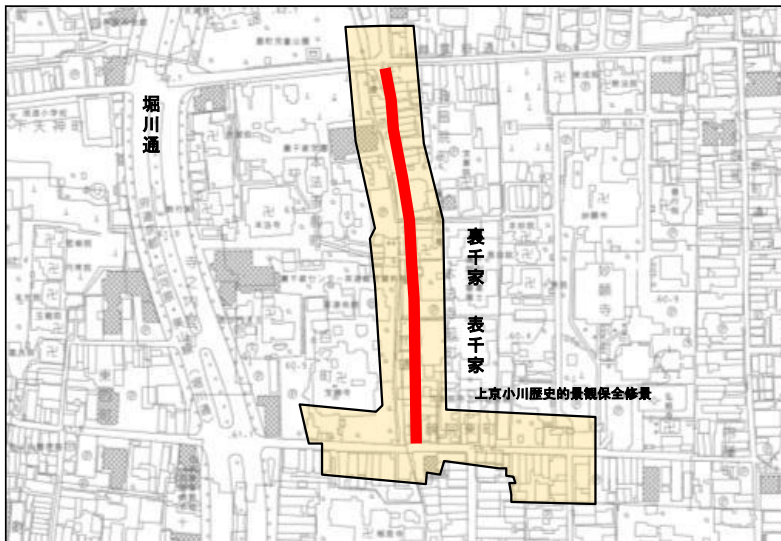
電線類を地中化する電線共同溝工事, 道路の美装化工事を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】<文化・芸術のまち京都>の歴史的風致の環境を形成している小川通において道路の無電柱化や修景整備を着実に実施することにより, 町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



小川通整備箇所図



小川通(整備前)



小川通(整備後)



小川通(整備前)



小川通(整備後)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 三条周辺地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 三条通及び新町通、室町通の道路修景整備及び一部無電柱化。【頁7～10】

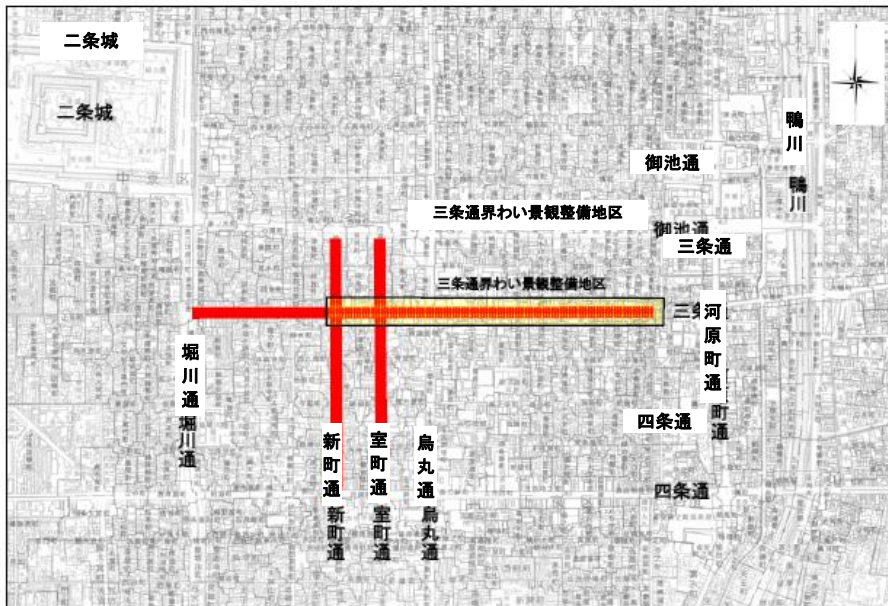
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度に引き続き、事業着手に向け、関係機関と協議を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致の環境を形成している三条通、<ハレとケのまち京都>の歴史的風致の環境を形成している新町通、室町通の無電柱化や修景整備を着実に実施することにより、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化事業の実施にあたっては、巨額の整備費用(幹線系1km当たり7億円、景観系9億円)を要することや、地上機器(関連設備)設置スペースの確保等の課題があるが、引き続き、無電柱化事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等



三条周辺地区整備箇所図



新町通



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 清水周辺地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 東山地区において無電柱化及び道路修景整備。【頁7～12】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無電柱化に係る地元要望を受け、技術的な課題解決の方策を検討。

【歴史的風致・基本方針との関係】清水寺周辺の歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

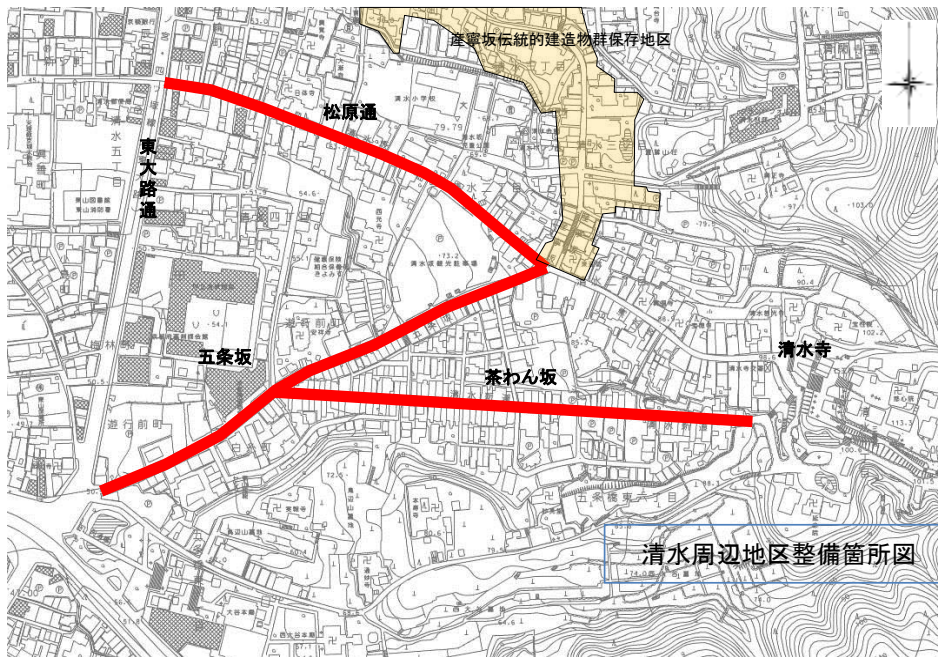
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

無電柱化事業の実施にあたっては、巨額の整備費用(幹線系1km当たり7億円、景観系9億円)を要することや、地上機器(関連設備)設置スペースの確保等の課題があるが、引き続き、無電柱化事業を推進していく。

状況を示す写真や資料等



松原通(産寧坂～東大路通)



五条坂(整備前)



茶わん坂(整備前)

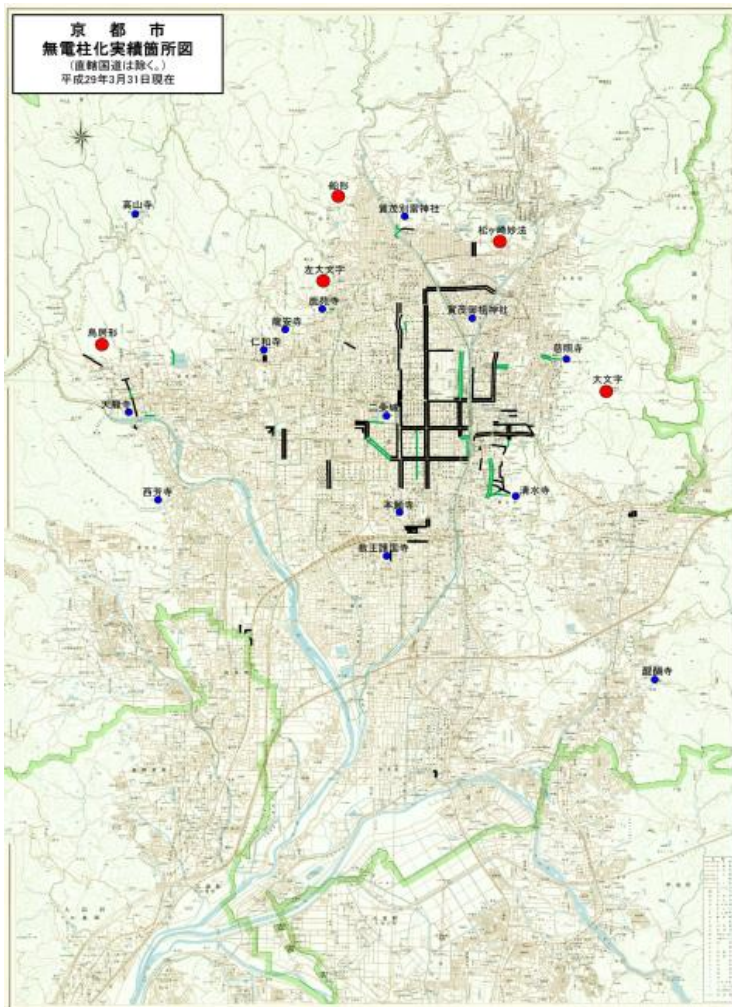
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
無電柱化等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	銀閣寺:平成21年度～, 嵯峨天龍寺:平成27年度～, 先斗町:平成27年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(国土交通省)		
計画に記載している内容	幹線道路や景観にとりわけ配慮すべき地区について, 電線共同溝の整備や架空線整理, 無電柱化事業を推進。 【頁7-14】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【銀閣寺】:電線類を地中化する電線共同溝工事(関連工事)を実施。 【嵯峨天龍寺】:電線共同溝工事の着手に当たり, 関係機関と協議を実施。 【先斗町】:電線共同溝工事(試掘調査等)に着手。			
【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により, 町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

京都市域無電柱化事業実績箇所図





評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
無電柱化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和61年～

支援事業名 国直轄事業

計画に記載している内容 国道9号等で電線共同溝を整備。【頁7-15】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

抜柱に向けて、電線管理者と調整を行う。  
171号野上地区で電線共同溝本体工事L=0.4km完了。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備前



管路敷設状況



整備後



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
横断防止柵等への間伐材活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 間伐材を利用した道路付属物等の設置。【頁7-16】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(京都御苑周辺道路)間伐材を使用した転落防止柵(L=195m)を設置。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な要素である道路付属物を間伐材を用いて町並みに調和した形で整備することで、歴史資産と周辺の町並みを一体的に守り、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進されるとともに、自然と共生し、「木の文化」を大切にするまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

間伐材を利用した道路付属物



間伐材を使用した  
転落防止柵の設置状況



■ 整備箇所

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
観光案内標識の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和30年代～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光案内図板, 案内標識, 名所説明札等の維持管理, 整備。【頁7-18】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名所説明立札の整備, 既存の観光案内図板及び案内標識の修繕等を実施。  
平成28年度は, 名所説明立札(駒札), 説明板, 案内看板の修繕を17基実施したことに加え, 市内産木材のみやこ杉木を使用した名所説明立札(駒札)を新規で50基設置。

【歴史的風致・基本方針との関係】観光案内標識を適切に整備することにより, 人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

<修繕>

山科神社説明板修繕



<新設>

高山寺 駒札設置





評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成18年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金(防災・安全)(国土交通省)

計画に記載している内容	歴史的都心地区を中心とした「まちなか」で四条通の歩道拡幅と公共交通優先化等を推進。【頁7-22】
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・四条通歩道拡幅工事完成(平成27年10月末)
- ・四条通整備後、1年間(平成27年11月～28年10月)の歩行者交通量…平均増加率 6.3%

【歴史的風致・基本方針との関係】これらの取組により、歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し、人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

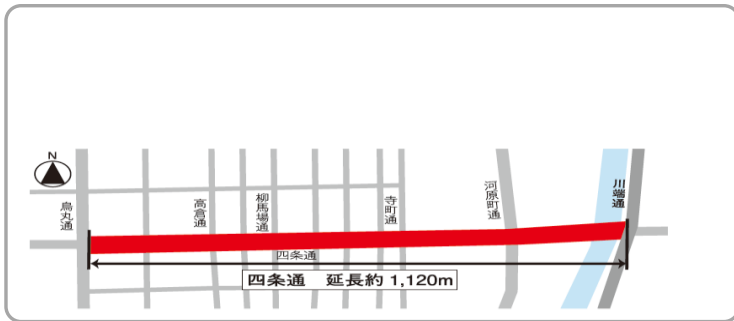
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・整備後の四条通におけるエリアマネジメントの推進 ・四条通とその周辺細街路における通過交通の流入抑制の推進 ・歩道拡幅に伴う効果検証の実施

状況を示す写真や資料等

●四条通の歩道拡幅の概要

市内最大の繁華街である四条通(烏丸通～川端通間)で公共交通優先と歩行空間の創出を図るため4車線を2車線化し歩道を拡幅

平成24年 1月 都市計画決定  
平成26年11月 整備工事着手  
平成27年10月 整備工事完了



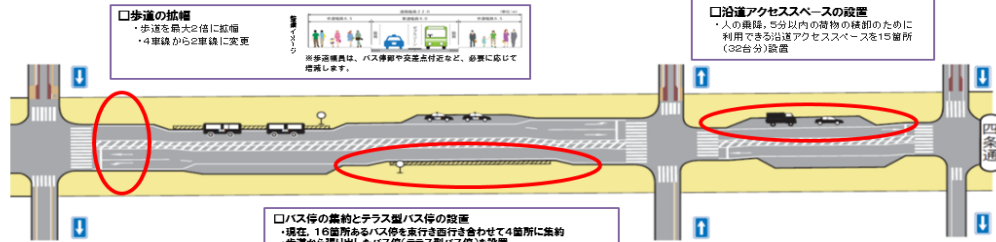
●整備前写真



●整備後写真



●主な整備項目



●四条通整備後の効果検証・影響検証

- 四条通整備後の交通環境の変化について検証するため、交通量調査等を行い、平成29年3月に最終報告を取りまとめた。
- 歩道の状況(対前年比)
- ・整備完了後1年間(平成27年11月～28年10月)の歩行者交通量…平均増加率 6.3%
- 車道の状況(平成18年比)
- ・四条通(堀川通～川端通)の交通量…約3～4割減少
  - ・四条通周辺の幹線道路の交通量 …約1～2割減少
  - ※平成27年11月に実施した交通量調査による。

●学会賞の受賞

- 多角的な視点からの評価を受け、3つの表彰を受賞
- ・国際交通安全学会賞(業績部門)
  - ・日本都市計画学会賞(石川奨励賞)
  - ・土木学会賞(技術賞)





評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
観光地交通対策		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	観光地である嵐山・東山において関係機関と連携した交通対策を実施。【頁7～24】		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋の観光シーズンに、交通の円滑化と安全快適な歩行空間を創出するため、京都府警察等の関係機関と連携の下、臨時交通規制等の交通対策をパークアンドライドと併せて実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】嵐山・東山は寺社が多く、<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域である。これらの取組により、歴史的風致を活かした歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し、人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、秋の観光ピーク期に、嵐山・東山の2地区において、地元住民・商業者及び京都府警等の関係機関と連携し、臨時交通規制や市営駐車場の自家用車駐車不可等の交通対策を実施する。

状況を示す写真や資料等

【嵐山】



※渡月橋は、交通状況等に応じて、車両通行規制がかかる場合があります。



【嵐山地区】  
長辻通歩行者用道路の実施状況

【東山】



【東山地区(東福寺周辺)】

- 九条陸橋で停車する観光バスを臨時待機場へ誘導
- JR・京阪東福寺駅から東福寺につながる道路の車両通行禁止などの臨時交通規制